



星美学園
小学校
第523号

ルルドの聖母
出現の月

聖書

わたしたちは世の光である。
わたしたちに從う者は闇の中を歩むことなく、命の光を持つ。

ヨハネ八章十二節

「GRIT (やり抜く力)」 ～星美編～
教諭 関口 弘子

「GRIT (やり抜く力)」、ペンシルバニア大学のアンジェラ・ダックワーズ氏のベストセラーが昨春秋、日本でも刊行されました。この本のタイトルを見て、「毎日、教室で子どもたちにやり遂げるようにさせているし、当たり前のような・・・」と思い、手に取ると、本校の建学の精神に相通ずる所がいくつもあつたので、ご紹介したいと思います。

著書によれば、「やり抜く力」は、「情熱」と「粘り強さ」の二つの要素からなります。この二つの要素は、本校の校訓である「清い心」と「たゆまぬ努力」と極めて似ているのではないのでしょうか。

アンジェラ氏は、「やりぬく力」の鉄人たちに共通する、四つの特徴が見えてくると記しています。**興味** **練習** **目的** **希望** の順で掲載されましたが、今回は、二つの要素ごとに書き、本校の校訓と照らし合わせてみたいと思います。

○情熱
自分のやっていると心から楽しんでこそ、情熱が生まれる。
自分の仕事は重要と確信してこそ「情熱」が実を結ぶ。目的意識を感じないものに興味を一生持ち続けることは難しい。自分の仕事は、世の中の人々のために重要だと感じている人ほど、根気強く仕事もできる。

この二つは、本校の「清い心」とつながる内容です。私は、一年生の子どもたちには「神様から頂いた命を、人のために使うことができますように」と、指導しています。六年生が卒業する時には「地の塩、世の光」の聖書の箇所が朗読されるのですが、将来的には、自分の使命を考えて生きることを目指しています。

○粘り強さ
練習 自分の弱点をはつきりと認識し、それを克服するための努力を日々繰り返す。また、上達しても、慢心せず、自分のスキルを上回る目標を設定してはクリアする。
希望 最初の一步を踏み出すときからやり遂げるときまで、ときには困難にぶつかり、不安になってもひたすら自分の道を歩み続ける姿勢。

この二つは、まさに、「たゆまぬ努力」と同じ内容です。本校では、漢字や計算の確認テスト、チャレンジ読書、縄跳び集会、マラソンの練習：努力して自分のスキルを向上させる学習が数多く計画されています。その一つひとつに向かって自分の力を出し切ることを日々指導しています。

例えば、先月から、マラソン大会の練習が始まりましたが、私のクラスでは、「毎日最低四週以上走る」という目標を立てました。特に、体調の悪い時以外は、全員に目標を達成させています。なかなか走れない子には、喜んで伴走してくれる子がいます。マラソン大会に向け、どの子も、毎日、自分の目標をやり遂げて本番を迎えてほしいと思っています。

希望については、自分の目標を持つと共に、神様に祈りを捧げ、神の愛を感じ、より善く生きることを大切にしています。祈ることで、自分の弱さを謙虚に受け止め、前向きに生きていくことができます。また、子ども達と毎日歌っている聖歌の歌詞は、私たちに生きる希望を与えてくれます。

同著では、さらに、親や教師が賢明な育て方をすることが、「やり抜く力」を伸ばすのに効果的と述べています。賢明な育て方とは、「温かくも厳しく子どもの自主性を尊重する育て方」のことですが、愛情深い中にも、規律は厳しく教えた、ドン・ボスコの教育法と通ずるものと言えらると思います。

本校では、二つの校訓を通して「良心的な人間・誠実なよい社会人」の育成を目指しています。校訓を通して育みたいのは「やりぬく力」だけではありませんが、校訓を大切に生活していれば、自然に身につく力ではないかと思えます。

「やり抜く力」は、短い時間では身につけません。丁寧な字、正しく計算すること、学習内容をしっかりとノートにまとめること、話を最後まで丁寧に聞き取ること、整理整頓、等々。特に小学校生活では、当たり前の小さなことを正しく積み重ね、根気強く身につけていくことが大切です。そのためには、学校も、家庭も、子どもたちが「情熱」を持って「粘り強く」努力できているか、根気強く見守り、励まし続けることが必要です。

今年度も、あと二か月。今後もご家庭の協力をいただきながら、今年度ですべきことは、やり遂げて学年末を迎えたいと思います。

「チマツチ神父の生涯」

～日本の地で聖ドン・ボスコの心を生きた人～



チマツチ神父は、高齡のため、一九四九年に管区長の職を離れることとなった。新しい管区長が任命され、重責を果たし終わると、以前から希望していた聴罪司祭、図書係や園庭係を務めた。総長は彼をトリノの本部に呼び戻し、名譽のあるポストや休暇を与えようとしたが、本人はそのことを望まず、日本に残ることを選んだ。私たち日本人も彼を必要としていたし、彼もまた日本で日々を過ごし、「日本の土」になることを切望していた。

チマツチ神父が亡くなる最後の二年半は、病床で寝たきりの日々が続いた。数回、死の危険にも遭遇し、病者の秘跡を受け、もう助かる見込みがないかと思われたが、持ち直すことができた。生前、誰の世話も受けることなく死にたいと思っていたチマツチ神父だったが、長く病床につくことになった。

チマツチ神父にとっては、病気の苦しみよりも、会員に迷惑をかけているという苦しみの方が大きかったのだろう。その胸の中を打ち明けられた院長が、「神父様は決して支部のお荷物ではありませんよ、会員の皆は喜んでお世話したがついていきます」と語ると、チマツチ神父は安心した様子で、目に涙を浮かべながら「慰め力づけられて、ありがとう」と答えたのだった。

しばしば「私が死なないわけは、皆さんがあまりにも親切で、死なせてくれないからです」と冗談を言うこともあった。どんなに小さな親切にも「ありがとう、ありがとう」と、感謝の言葉と共に暖かい心を訪れる人に与え尽くした。

5年生 雪の学校

一番の雪の学校

五年



「ザクザクザク」

雪をふむ音を思い出す。今回の雪の学校は、とても充実し、一番楽しい宿泊学習だと思う。一つ一つが心に残っているが、その中でも二つ印象が強い。一つ目はかんじき体験だ。雪の学校の前日に一回はいているが、やはりはくのはむずかしかった。僕たち一号車は尾瀬ネイチャーセンターの前でかんじきをつけた。少し手こずったが、すぐはけた。そして少し行ったところに広く、そして深く雪が積もっている場所があった。しかし、そこに行くまでに左の足のかんじきがとれてしまい、つけるのも大変なので、かんじきをつけている足とつけていない足とで、どれほど足がうもるかを比べてみた。やはりかんじきをつけている足は、それほど足がうもらなかった。その後、瀨野先生が片方をつけてくれて、みんなの場所まで行けるようにしてくれた。きつくしめてくださったおかげで全然はずれず、とても楽しかった。かんじきのありがたさや、昔の人の工夫がとても分かった。

二つ目は、二日目のスキーレッスンだ。僕たち六班にはインストラクターの光穂先生がついてくれた。最初は、一番簡単なレッスングレンデという場所ですキーをした。午前のレッスンはレッスングレンデだったが、午後から初級のロマンスコースという所に行った。リフトがとても楽しく、眺めも良くて最高だった。

三日目のスキーレッスンでは、ロマンスコースを少しすべり、次に第三高速ペアリフトで上まで行った。第三高速ペアリフトに乗る時は不安やとまどいがあったが、だんだんなくなっていく、それが楽しみな気持ちに変わっていった。午前中は一回も転ばず、充実していたが、午後のレッスンで油断してしまったのか二回も転んでしまった。今回のスキーレッスンで、何事も油断したり過信してはいけない大切さを知った。スキーレッスンをして下さった、光穂先生に感謝したい。

三つ目は雪の学校最終日に行ったたくみの里だ。たくみの里で僕は竹細工を行った。竹細工の家に入ると匠がいて、周りには色々な作品があった。竹細工では竹とんぼややりんざしや紙鉄砲を作った。竹を小刀で削ったりノコギリで切ったりした。途中で親指を小刀で切ってしまった。少しの油断だと思う。しかし、楽しかった。

今回の雪の学校は、きつと今までで一番充実した四日間だったと思う。そして本当に油断や過信はいけないということを教わった宿泊学習だった。これからも今回の教えを守り、学校生活を送りたい。本当に楽しかった。

2月行事予定

- 1日(水) 星美中クラス分けテスト
 7日(火) 授業参観・懇談会(低学年)
 8日(水) クラブ紹介①
 9日(木) 東初協教員研修会(3校時授業後下校)
 10日(金) 授業参観・懇談会(高学年)
 11日(土) 建国記念の日
 13日(月) カトリック音楽会(3年生出演)
 15日(水) 地区ランチ
 17日(金) マラソン大会(弁当)
 ※ 予備日は24日(金)(弁当)
 18日(土) 第4土曜日振替
 20日(月) 地区別下校
 21日(火) まとめテスト
 22日(水) まとめテスト
 児童会執行部解任・任命式
 25日(土) 父の会③
 特別音楽クラブ校内演奏会
 父母の会役員会
 新1年生保護者会②

【ベルマーク整理】

- 14日(火) → 1B 15日(水) → 1C
 16日(木) → 1A

東初協教員研修会

先生方の研修日です。児童は3校時授業で下校となります。

授業参観・学級懇談会(低学年と高学年は日にちが違います)

授業参観	13:30~14:15
学級懇談会	14:30~15:30

- ☆6年生は授業参観のみです。詳しくは学級通信等でご確認ください。
 ☆低学年の児童は、懇談会の間、お子様をお預かり致します。お子様を1人で下校させる時のみ連絡簿で担任までご連絡ください。
 ☆高学年は、学校でお預かりは致しませんのでご了承ください。



マラソン大会【弁当持参】

いよいよマラソンのシーズンです。
 『早寝、早起き、朝ごはん』を心がけて最高のコンディションで大会へ臨みましょう。大会は荒川の土手で行います。当日はお子様の頑張る姿を応援してください。雨天の場合は24日(金)に延期となります。両日ともお弁当持参になりますので忘れずに持ってきてみましょう。

連絡

これから風邪やインフルエンザ等で欠席や遅刻が増えて来ることが予想されます。欠席・遅刻等の連絡は、当日朝8時15分までに保護者の方が必ずしてくださいませ、お願い致します。